

周南市庁舎建設 基本構想を策定しました

「安心」と 「つながり」の まちづくり拠点

計画]を策定する上としでいます。

庁舎の現状と課題、 整備の必要性

●耐震性が低いため倒壊などの危険

があり、災害時の防災拠点(司令塔)にならないおそれがある。

全建物が現在の耐震基準以前(旧耐震基準)の設計。震度6程度で倒壊・崩壊の危険性がある箇所がある。

施設の老朽化が進み、使い勝手が悪く、環境負荷が高い状態

本館・西本館・東本館は築50年超。組織改編に対応しにくく、スペース不足。維持管理費は割高に。

●バリアフリー化が困難で、待合や相談スペース・駐車場が十分確保できない

段差が多くエレベーターで行けない箇所あり。敷地や施設にゆとりがなく、相談者のプライバシー確保も課題。

●本庁機能が分散しているため、利用者が分かりにくく、行政サービス提供上も非効率

来庁目的ごとに行き先が変わったり、職員の移動にも時間と経費を要したりする事態が生じている。

本庁は、早急に何らかの手を打たなければならぬ時期にきてています。

現在の本庁舎は、老朽化していること、耐震性が低いこと、バリアフリーの実現が困難であること、本庁機能が分散し来庁者に分かりにくく、非効率な行政サービスとなっていることなど多くの課題を抱えています。

これらの課題を解消するため、平成24年度から庁舎建設についての検討を進めてきましたが、このたび、大きな整備方針である「庁舎建設基本構想」をまとめましたので、その概要をお知らせします。

今年度は、この基本構想を基に、市民の皆さんとの意見交換ながら、より具体的な検討を行い、「庁舎建設基本

庁舎整備の理念と これからの中の庁舎のあり方

これからの中の庁舎は、現在の庁舎が抱える課題を解決していくだけではなく、公共・市民・事業者などが力を合わせて周南のまちづくりを推進する、中核的な場としていく必要があります。

市民の皆さんとの安心安全を確保するため、これまでの庁舎としていくことと、「つながり」のまちづくり拠点となります。

理念に基づき、左図に示す6つのテーマが実現できるよう新たな庁舎をめざし、庁舎整備の理念を「安心」と「つながり」のまちづくり拠点としています。

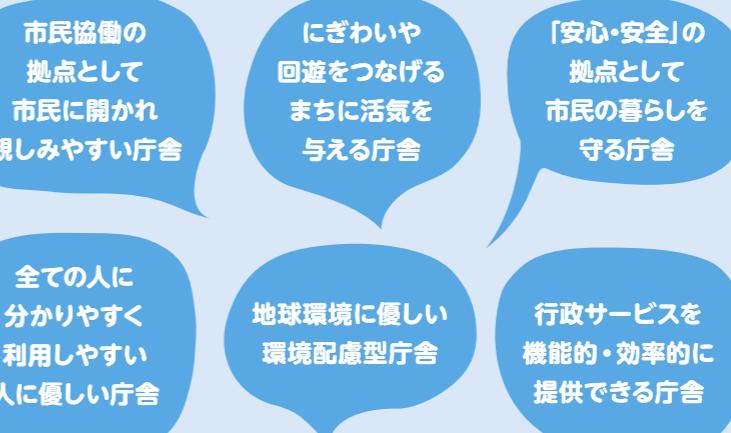
これまでの庁舎が抱える課題を解決していくだけではなく、公共・市民・事業者などが力を合わせて周南のまちづくりを推進する、中核的な場としていく必要があります。

これからの中の庁舎は、現在の庁舎が抱える課題を解決していくだけではなく、公共・市民・事業者などが力を合わせて周南のまちづくりを推進する、中核的な場としていく必要があります。

市民の皆さんとの安心安全を確保するため、これまでの庁舎としていくことと、「つながり」のまちづくり拠点としています。

理念に基づき、左図に示す6つのテーマが実現できるよう新たな庁舎をめざし、庁舎整備の理念を「安心」と「つながり」のまちづくり拠点としています。

●庁舎整備の理念とあり方



「安心」と「つながり」の まちづくり拠点

周南市庁舎建設基本構想 (素案)に対するパブリック・コメントの結果の概要

募集期間 1月15日(火)～2月15日

募集件数 26件

意見の提出者数 33人

意見の項目数 計60件

●新庁舎建設の位置について…8件

●計画立案の手続きについて…7件

●本庁機能の集約と総合支所・支所のあり方について…4件

●その他意見…4件

●本庁舎市民さんと各総合支所・地域政策課室のあり方について…4件

●本庁舎市民さんと